

農業生産工程管理推進事業交付金事業の事業評価票(平成30年度)

事業実施主体	区分	目標値			事業の成果	国による評価
		目標値	実績	達成度		
茨城県	I 指導体制の構築	50名	58名	116%	指導体制の育成については、平成30年度内に5回の研修会を行うなどにより、GAP指導員の新規育成数は目標の50名に対して、58名の実績となった。	GAP認証の新規取得経営体数は、JA部会等で合意形成が得られず団体認証を取得できなかったこと等から、成果目標を達成できていない。このため、JA等関係機関と連携したGAPの意義や役割の啓発、団体認証取得に向けた合意形成の促進などを進め、GAP認証の新規取得者数を増加させる改善計画を策定するよう指導を行い、再度評価を行う。
	II GAP認証の取得拡大	60経営体	9経営体	15%	改善計画に従って、GAPのコンサル会社と連携し、認証取得に意欲のある農業者や団体を絞り込み、積極的にGAP指導を行い、平成31年度事業で19経営体(うち1団体)のGAP認証の取得を支援したが、事業以外での新規取得はなかった。	
栃木県	I 指導体制の構築	20名	25名	125%	研修の参加数増や、早期に開催案内を通知したことによりGAP指導者要件の達成率を増加させることができた。	GAP認証の新規取得経営体数は、JA部会等で合意形成が得られず団体認証を取得できなかったこと等から、成果目標を達成できていない。このため、JA等関係機関と連携したGAPの意義や役割の啓発、団体認証取得に向けた合意形成の促進などを進め、GAP認証の新規取得者数を増加させる改善計画を策定するよう指導を行い、再度評価を行う。
	II GAP認証の取得拡大	23経営体	12経営体	52%	GAP認証に意欲の高い事業者について、定期的に指導を行いGAP認証の取得を支援することができた。	
群馬県	I 指導体制の構築	7名	7名	100%	JGAP指導員基礎研修を県25名、JA29名が新規に受講。3産地以上を指導したGAP指導員は、県4名、JA3名となり、目標値を達成した。	成果目標を達成した。
	II GAP認証の取得拡大	4経営体	4経営体	100%	本事業を活用したGAP認証の新規取得経営体数はGAPの2経営体にとどまった。目標値の4経営体のうち、取得に至らなかったものは、次の2件。当初予定していた農業高校において、施設整備面、指導面でGAPの取得を行わないと判断したものが1件、GLOBALG.A.P.の取得を予定していた農場において、審査会社に審査を依頼したものの、依頼多数により対応が難しく、審査の受入れを断られたものが1件。改善計画に基づき普及指導機関による指導を行った結果、GLOBALG.A.P.の取得1件、JGAPの取得1件が確認され、累計の新規GAP認証取得経営体は、4経営体となった。	
埼玉県	I 指導体制の構築	24名	51名	213%	商談会やイベント等で流通・加工業者等の実需者や消費者にGAPをPRして認知度を高め、社会全体でGAPを評価する気運を醸成することで、農業者のGAP認証取得の意欲向上を図った。	GAP認証の新規取得経営体数は、JA部会等で合意形成が得られず団体認証を取得できなかったこと等から、目標を達成できていない。このため、JA等関係機関と連携したGAPの意義や役割の啓発、団体認証取得に向けた合意形成の促進などを進め、GAP認証の新規取得者数を増加させる改善計画を策定するよう指導を行い、再度評価を行う。
	II GAP認証の取得拡大	100経営体	77経営体	77%	県関係機関やJAグループと連携し、農業者団体に重点を置いてGAPの必要性や経営改善効果等を説明し、GAP認証取得に向けた合意形成を促進した。 県職員(普及指導員)等に、県主催のGAP指導員育成のための研修会やJGAP指導員研修等、民間企業主催の研修会を受講させ、指導員を育成し、GAP認証を取得しようとする農業者等の支援を行った。	
千葉県	I 指導体制の構築	4名	4名	100%	GAP指導員の新規育成については、平成30年度事業により達成している。	GAP認証の新規取得経営体数は、9月から10月にかけて相次いだ台風等の被害により、目標を達成できていない。このため、JA等関係機関と連携したGAPの意義や役割の啓発、団体認証取得に向けた合意形成の促進などを進め、GAP認証の新規取得者数を増加させる改善計画を策定するよう指導を行い、再度評価を行う。
	II GAP認証の取得拡大	20経営体	9経営体	45%	GAP認証の新規取得については、ちばGAP制度に取り組む農業者や農林水産省が補修しているGAPパートナー企業の株式会社リンガーハットよりGAP認証取得の要望があったJAきみつ(品目:キャベツ)に対して、JGAP団体認証取得等の働きかけを行った。	
神奈川県	I 指導体制の構築	73名	27名	37%	農業者に対する国際水準GAPの実施に関する指導ができるように、普及指導員及び農協営農指導員等28名がGAP指導員育成研修を受講し、GAP指導員は、普及指導員15名及び農協営農指導員12名の計27名となった。	GAP指導員の新規育成数は、国際水準GAPの実施に向けた指導実績要件(3人以上)を満たせなかったこと、GAP認証の新規取得経営体数は、JA部会等で合意形成が得られず団体認証を取得できなかったこと等から、いずれも成果目標を達成できていない。このため、GAP指導実績の未達成者に対する研修等による指導、JA等関係機関と連携したGAPの意義や役割の啓発、団体認証取得に向けた合意形成の促進などを進め、GAP指導員の新規育成数及びGAP認証の新規取得者数を増加させる改善計画を策定するよう指導を行い、再度評価を行う。
	II GAP認証の取得拡大	21経営体	8経営体	38%		
山梨県	I 指導体制の構築	0名	5名	100%	GAP推進フォーラム、GAP実践セミナーを開催することで、農業者等に対しGAP手法の取り組みの意義やGAPをめぐる国内動向、実践事例等を広くPRするとともに、県普及指導員等を国際水準GAPに係る研修に派遣し、農業者等の国際水準GAPの取得に向けた指導・支援体制を確立した。	GAP認証の新規取得経営体数は、GAP認証取得を翌年度以降に見送った農業者がいたこと等から、成果目標を達成できていない。このため、JA等関係機関と連携したGAPの意義や役割の啓発、団体認証取得に向けた合意形成の促進などを進め、GAP認証の新規取得者数を増加させる改善計画を策定するよう指導を行い、再度評価を行う。
	II GAP認証の取得拡大	9経営体	6経営体	66%	国際水準GAPの認証取得を志向する農業者等に対し、取得に係る審査費用、環境整備費用等を補助することで、国際水準GAPの導入推進を支援した。	
長野県	I 指導体制の構築	72名	103名	143%	研修受講者が早期に指導実績を積み、現地研修等より実践的な内容の研修会を開催した。また、普及指導員や革新支援専門員を参集し、県の指導体制や対象農家への指導方法等について検討するとともに、積極的なGAP指導の実践を推進し、平成30年度を合わせて103名の指導員を育成した。	成果目標を達成した。
	II GAP認証の取得拡大	14経営体	19経営体	136%	GAP指導員による現地指導に加え、農業者やJAグループ等を対象とした研修会による指導等を行い、GAP指導員等による指導を受けてGAP認証を新規取得した経営体数は、平成30年度と合わせて19経営体となった。	
静岡県	I 指導体制の構築	35名	59名	169%	改善計画に基づき令和元年度に指導員研修を受講した28名の受講者が産地で指導を行った。	GAP認証の新規取得経営体数は、JA部会等で合意形成が得られず団体認証を取得できなかったこと等から、成果目標を達成できていない。このため、JA等関係機関と連携したGAPの意義や役割の啓発、団体認証取得に向けた合意形成の促進などを進め、GAP認証の新規取得者数を増加させる改善計画を策定するよう指導を行い、再度評価を行う。
	II GAP認証の取得拡大	316経営体	114経営体	36%	平成30年度に認証取得を予定していた農業者が令和元年度事業を活用して認証取得を行ったため、平成30年度事業における新規GAP認証取得経営体数は伸びなかった。	